

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団 2022年「米山稔賞」を
国枝慎吾氏・山口茜選手・平野歩夢選手・富田せな選手に授与



右より国枝慎吾氏、山口茜氏、米山勉（弊財団理事長）、富田せな氏、平野歩夢氏の代理受賞者の父・英功氏

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団（理事長 米山勉）は、ジュニアスポーツの振興に関し貢献された個人および団体を表彰する「米山稔賞」表彰式を2023年6月20日に帝国ホテル東京にて執り行い、2022年「米山稔賞」受賞者として国枝慎吾氏（車いすテニス競技）・山口茜氏（バドミントン競技）・平野歩夢氏（スノーボード・ハーフパイプ競技）・富田せな氏（スノーボード・ハーフパイプ競技）の4名を表彰いたしました。

国枝慎吾氏(車いすテニス競技)

《授賞理由》

2022年は、悲願のウィンブルドン選手権大会初優勝により四大大会を制覇し「生涯グランドスラム」を達成、またパラリンピック優勝を含む「生涯ゴールデンスラム」を達成されました。

本年、世界ランキング第1位のまま、惜しまれつつ現役を引退されましたが、車いすテニス競技はもとより、パラスポーツ全体の普及と発展に大きく貢献されました。

なお、2021年に東京2020パラリンピック車いすテニス競技の男子シングルスで金メダルを獲得し、5大会連続出場により通算4個の金を含む6個のメダル獲得で「米山稔賞」を受賞され、今回、2度目の受賞となりました。

《受賞コメント》

「昨年に引き続き荣誉ある「米山稔賞」を頂き、ありがとうございます。2016年にリオパラリンピックでの肘の怪

我で大きな挫折を味わって引退を考えるほど先が見えない状況の中、ヨネックス様から高反発で肘に負担の掛からない最強のラケットを提供していただきました。僕のキャリアの中で辛い時期にリスクを取って手を差し伸べていただいた事が印象に残っています。1月に引退しましたが、まだまだテニス界・車いすテニス界やヨネックス様に恩返しをしていきたいと思っています。」

山口茜氏(バドミントン競技)

◀授賞理由▶

2022年は、東京で初めて開催された世界選手権大会女子シングルスで2大会連続となる金メダルを獲得し、12月開催のBWFワールドツアーファイナルズ2022で金メダルを獲得するなど国際大会で圧倒的な活躍をされました。日本人初の女子シングルス世界ランキング第1位となり、山口氏は日本バドミントン競技におけるジュニアへの普及と競技力向上並びに競技の発展に大きく貢献されました。

なお、2014年に世界ジュニア選手権大会並びに全日本総合選手権大会女子シングルスで高校生として初めて優勝し、「米山稔賞」を受賞され、今回、2度目の受賞となりました。

◀受賞コメント▶

「本日は、このような素晴らしい賞を頂き、大変光栄に思います。引き続き皆様からのサポートを頂きながら、沢山の方に応援されるようなプレーをしていきたいと思ひますし、ジュニアの選手達にも憧れられるようなプレーができるように頑張っていきたいと思ひますので、これからもよろしくお願ひします。」

平野歩夢氏(スノーボード・ハーフパイプ競技)

◀授賞理由▶

2022年2月に開催された北京2022冬季オリンピックスノーボード男子ハーフパイプにおいて、大技の「トリプルコーク1440」を成功させ、逆転で日本初の金メダルを獲得し、3大会連続でメダル獲得の偉業を達成されました。

また同年1月に開催されたAspen Winter X-GAMESハーフパイプ準優勝をはじめ、2021-2022年シーズンのワールドカップ総合優勝を果たすなど、新潟県民はもとより日本国民に、感動と勇気を与え、日本スノーボード競技のジュニアへの普及と競技力向上並びに競技の発展に大きく貢献されました。

◀受賞コメント(ビデオメッセージ)▶

「米山稔賞に選出していただき、ありがとうございます。これからも自分の信じた道でパフォーマンスを皆さんに届けられるように日々頑張っていこうと思ひているので、引き続き応援よろしくお願ひします。」

※平野歩夢氏はご都合がつかず欠席となり、父・英功氏が代理受賞されました。

富田せな氏(スノーボード・ハーフパイプ競技)

◀授賞理由▶

2022年2月に開催された北京2022冬季オリンピックスノーボード女子ハーフパイプにおいて、銅メダルを獲得し、女子ハーフパイプ史上初のメダリストになる偉業を達成されました。

また同年1月に開催されたAspen Winter X-GAMESハーフパイプで日本人女子初となる優勝などの活躍により、スノーボード競技のジュニアへの普及と競技力向上並びに競技の発展に大きく貢献されました。

◀受賞コメント▶

「このような素晴らしい賞を頂いて、とても嬉しく思ひます。オリンピックが終わって、次のシーズンから私らしく頑張って参りますので、また応援よろしくお願ひします。」

[理事長挨拶] 米山勉

「受賞者の皆様それぞれの国際大会での目覚ましいご活躍により、ジュニア層へ勇気を与えていただきました。山口様・国枝様のご両名については、過去に「米山稔賞」として表彰させて頂いておりますが、その後に更に飛躍をされたという事で、そのご功績を称えるため再度表彰をさせて頂きました。

当財団設立者で私の父である米山稔は、第二次世界大戦の日本敗戦後、スポーツこそ平和への最大の貢献と信じてヨネックス株式会社を設立し、ジュニアスポーツ振興を目的に 25 年前の 1998 年に当財団を設立いたしました。助成・奨学・表彰の 3 事業により、今回受賞された皆様のように、世界で活躍される選手を育成するべく、これからも皆様からのご協力を賜りながら、更にジュニアスポーツの振興に邁進してまいりたいと存じます。」

弊財団は、ジュニアスポーツの振興に関する諸般の事業の推進を図り、心身ともに健全なジュニアアスリートを育成し、もって明るく豊かで活力に満ちた社会の実現に寄与することを目的とし、今後も尽力してまいります。